

10月 給食だより



「早ね早おき朝ごはん」
運動シンボルマーク

秋を楽しむお月見の行事

ようやく暑さが和らぎ、秋の気配を感じるようになってきました。昔から、秋は1年のうちで最も月がきれいに見える季節とされ、昔の暦（旧暦）で秋の真ん中にあたる8月15日の十五夜の月を「中秋の名月」と呼んで、月を觀賞するお月見の行事が行われてきました。ちょうどこの時期に里いもが収穫されることから、里いもをお供えしたり、「きぬかつぎ」などの里いも料理を食べたりする風習もあり、別名で「芋名月」ともいいます。また、十五夜からひと月ほど後の十三夜にもお月見をする風習があり、両方合わせてお月見をすると縁起が良いとされています。

十五夜の行事食

月見団子

こめから作る団子。満月に見立てた丸い形のほか、里いもの形などもあり、地域によって違いがあります。

きぬかつぎ

里いもを皮付きでゆでたり蒸したりしたもの。平安時代の女性の服装にちなんで、こう呼ばれます。



2025年の十五夜は 10月6日、
十三夜は 11月2日です。

出典：こころとからだの健康学校給食

★今月の献立について★

6日 十五夜

十五夜は中国から伝わった風習です。十五夜は月の神様に豊作を願いながらお月見をします。給食では、主菜に里芋を使い、デザートにはみたらし団子を用意します。

17日 運動会応援献立

昨年度から大人気のカツカレーと、デザートにサイダーの入ったフルーツポンチを、子どもたちへ応援の気持ちをこめて組み合わせました。
練習の成果を発揮して素晴らしい運動会にしたいと思います。

31日 開校記念お祝い献立

日本では昔からおめでたいことがあると、お寿司を食べたり、旬の食材を使ったりしてお祝いします。

給食では、毎年、開校記念お祝い献立を実施しています。秋鮭で鮭の五目寿司とお祝いすまし汁には季節を表したかまぼこをちらします。また、デザートには紅白ゼリーを用意して彩りを添えます。



今年も読書旬間がやってきました。学校司書の白子先生と栄養士が一緒に選んだ本の中から、本に出てきた料理を給食で再現します。食べて、読んで、物語のワンシーンを楽しみましょう！

21日 「給食アンサンブル2」より

それぞれに迷いや悩みを抱えた中学2年生の物語です。給食をきっかけに揺れる中学生の心が描かれています。

23日 「こまったさんのハンバーグ」より

こまったさんシリーズ全10巻のうちのひとつで、不思議な出会いと魔法のようなハンバーグの物語です。

作中に描かれているハンバーグの作り方に近づけて、いつもの給食とはまた違うハンバーグを用意します。

27日 「めぐろのさんま」より

落語の絵本なので声に出して読むと楽しい絵本です。

お殿様が初めて食べた、忘れられないほどおいしかったさんまのお話です。

ちょうどさんまの季節であることから、この本にちなんで、さんまのかば焼き丼を予定しています。